



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2023年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,081	3.7	118	0.3	124	23.2	66	5.1
2022年3月期第3四半期	2,007	14.9	119	11.0	100	24.6	69	3.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 65百万円 (12.1%) 2022年3月期第3四半期 75百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	12.22	
2022年3月期第3四半期	12.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,415	1,447	59.6
2022年3月期	2,231	1,424	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,440百万円 2022年3月期 1,417百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,115	13.6	272	87.6	282	118.3	175	92.6	32.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,428,000 株	2022年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	506 株	2022年3月期	506 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	5,427,494 株	2022年3月期3Q	5,427,494 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加の影響を受けつつも各種制限の緩和等により景気は持ち直しの兆しがみられました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景にした資源価格の高騰、世界的な金融引き締めによる急激な為替変動など、内外経済に与える影響は依然として不透明な状況です。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組み、業務効率化対応に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを背景に、企業の投資需要は引き続き増加しているものの、内外経済に対する影響への懸念から、新規の投資に対する先送りなど、投資に対する動きには慎重さが見られました。

このような状況の中、当社グループは、オンラインセミナーやリモート会議などを積極的に活用し顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は売上高2,081,729千円（前年同四半期比3.7%増）、売上総利益980,211千円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益118,681千円（前年同四半期比0.3%減）、経常利益124,174千円（前年同四半期比23.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益66,311千円（前年同四半期比5.1%減）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで4.6%（前年同四半期比0.4ポイント減少）、当社単体では6.9%（前年同四半期比2.8ポイント増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (社労夢事業)

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっている一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、WEB年末調整システム「eNEN」、顧問先アプリケーション「ネットde顧問」などの各製品群の品質向上と機能拡充などを図るとともに、「社労夢（Shalom）V5.0」の次期バージョンとなるシステム、「FOREVER」の開発を進めております。

このような中、WEB年末調整システム「eNEN」の新規受注及び利用従業員数の増加、2022年7月に実施した一部製品についての月額利用料の価格改定、毎年多くの引き合いにつながっているIT導入補助金の採択によりハウспランの契約件数を伸ばしたことなどで、社労夢（Shalom）シリーズをはじめとするクラウドサービスの月額課金の積み上げが順調に推移しました。また、日本最大級の管理部門向け展示会「第10回 HR EXPO人事労務・教育・採用」への出展を行い、新規ユーザーの獲得に努めました。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が1,625,805千円（前年同四半期比8.9%増）となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が1,503,271千円（前年同四半期比12.0%増）、システム構築サービス売上高が122,533千円（前年同四半期比18.5%減）となりました。システム商品販売売上高は67,670千円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

一方で、一部製品の償却が終了したことなどによりソフトウェア償却費が減少したことや、積極的な採用を控えたことで、全体的にコストが抑えられることとなりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は1,713,243千円（前年同四半期比7.5%増）となり、売上総利益は882,506千円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益は147,533千円（前年同四半期比52.0%増）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は8.6%（前年同四半期比2.5ポイント増加）となりました。

#### (CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフ

ロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービス「GooodN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの保守売上が順調に積み上がった一方、企業内部の制度改正や投資需要のタイミングに左右される新規開発案件については、例年ほど積み上がらない結果となりました。クラウドサービス「GooodN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

コスト面においては、開発活動における競争力強化や営業活動における販促投資に向けるコストが先行する状況となりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は378,920千円（前年同四半期比13.6%減）、売上総利益は98,426千円（前年同四半期比37.3%減）、営業損失は42,243千円（前年同四半期は16,859千円の営業利益）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額29,146千円を反映しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,156,041千円（前期比9.4%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金622,936千円、売掛金434,152千円となっております。

また、固定資産の残高は1,259,821千円（前期比7.2%増）となりました。主な内訳は、ソフトウェア471,305千円、のれん145,732千円、差入保証金162,738千円となっております。

以上の結果、総資産は2,415,863千円（前期比8.2%増）となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、754,192千円（前期比0.3%増）となりました。主な内訳は、短期借入金200,000千円、1年内返済予定の長期借入金157,256千円、未払金135,381千円となっております。

また、固定負債の残高は214,510千円（前期比285.9%増）となりました。主な内訳は、長期借入金210,000千円となっております。

以上の結果、負債合計は968,702千円（前期比20.0%増）となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における株主資本は、1,440,384千円（前期比1.6%増）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金202,122千円、利益剰余金1,019,650千円となっております。

以上の結果、純資産は1,447,160千円（前期比1.6%増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間業績の通期業績予想に対する進捗率は、売上高66.8%、営業利益43.5%、経常利益43.9%、親会社株主に帰属する当期純利益37.7%で推移しておりますが、今後CuBe事業において大型案件の納品が見込まれるため、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表した「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております連結業績予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	468,147	622,936
売掛金	475,057	434,152
商品	35,267	32,777
仕掛品	7,096	17,535
貯蔵品	155	61
前払費用	60,730	44,340
未収還付法人税等	5,300	809
その他	5,229	3,428
流動資産合計	1,056,984	1,156,041
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	124,164	115,500
車両運搬具（純額）	866	212
工具、器具及び備品（純額）	118,476	131,078
有形固定資産合計	243,507	246,792
無形固定資産		
ソフトウェア	438,283	471,305
ソフトウェア仮勘定	124,583	212,459
商標権	1,086	913
電話加入権	1,218	1,218
のれん	174,878	145,732
無形固定資産合計	740,050	831,629
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	162,956	162,738
繰延税金資産	28,285	18,502
その他	98	98
投資その他の資産合計	191,400	181,399
固定資産合計	1,174,958	1,259,821
資産合計	2,231,942	2,415,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	61,632	30,875
短期借入金	126,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	197,259	157,256
未払金	156,920	135,381
未払費用	16,222	32,473
未払法人税等	8,619	36,604
未払消費税等	17,139	21,475
前受金	86,840	84,770
役員退職慰労引当金	5,000	—
賞与引当金	67,789	36,537
その他	8,283	18,816
流動負債合計	751,705	754,192
固定負債		
長期借入金	55,592	210,000
退職給付に係る負債	—	4,510
固定負債合計	55,592	214,510
負債合計	807,297	968,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	996,759	1,019,650
自己株式	△499	△499
株主資本合計	1,417,493	1,440,384
非支配株主持分	7,152	6,776
純資産合計	1,424,645	1,447,160
負債純資産合計	2,231,942	2,415,863

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,007,812	2,081,729
売上原価	1,044,130	1,101,518
売上総利益	963,681	980,211
販売費及び一般管理費	844,646	861,529
営業利益	119,034	118,681
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	1	1
受取賃貸料	32,103	32,103
保険解約返戻金	—	7
仕入割引	52	54
還付加算金	—	27
業務受託料	—	4,500
その他	3,324	—
営業外収益合計	35,484	36,695
営業外費用		
支払利息	1,514	2,051
賃貸収入原価	28,521	28,521
支払補償費	23,700	—
その他	—	631
営業外費用合計	53,735	31,203
経常利益	100,782	124,174
税金等調整前四半期純利益	100,782	124,174
法人税、住民税及び事業税	15,034	48,455
法人税等調整額	10,709	9,783
法人税等合計	25,744	58,238
四半期純利益	75,038	65,936
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,144	△375
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,894	66,311

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	75,038	65,936
四半期包括利益	75,038	65,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,894	66,311
非支配株主に係る四半期包括利益	5,144	△375

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,574,843	432,968	2,007,812	—	2,007,812
セグメント間の内部売上高又は 振替高	18,249	5,389	23,638	△23,638	—
計	1,593,092	438,358	2,031,450	△23,628	2,007,812
セグメント利益	97,057	16,859	113,917	5,116	119,034

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,705,878	375,851	2,081,729	—	2,081,729
セグメント間の内部売上高又は 振替高	7,365	3,069	10,434	△10,434	—
計	1,713,243	378,920	2,092,163	△10,434	2,081,729
セグメント利益又は損失(△)	147,533	△42,243	105,290	13,391	118,681

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。